

授業科目	法学概論				単位	2				
履修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10405J			
開講年次	3・4年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3					
担当教員	福田 達也									
授業概要	法は、私達の生活のあらゆる領域と関わっている。社会生活を営む中で私達の抱える様々な問題に、どのような法が関わっているのか、具体例を取り上げながら学習することで、法的なものの考え方の理解を深め、法を学ぶことの意義および日本の法体系の概略を把握することを目的とする。									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法についての基礎理論を理解し、説明することができる(法とは何か、法の種類)。 2. 基礎的な法の解釈を理解し、説明することができる(裁判における事実認定と法の解釈)。 3. 裁判員制度を理解し、説明することができる(刑法、刑事訴訟法の基礎)。 4. その他生活にかかわる諸法を理解し、説明することができる(労働法、民法、家族法、企業と法、交通と法、環境と法、文化・教育と法、情報と法、福祉と法など)。 									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100			
知識・理解 (DP1-1)	50	20					70			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)	20	10					30			
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
法学の基本的な知識をよく理解し、法学が関連する様々な社会的問題を考える際に応用することができる。 関連する学説や判例の内容についてよく理解し、他の人に正確に説明することができる。					法学の基本的な知識を身に付け、それを他の人に説明することができる。 関連する学説や判例の内容について、他の人に説明することができる。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	

1	テーマ:法とは何か(福田 達也) 法と常識、道徳、について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
2	テーマ:法の種類(福田 達也) 事例を基に法的責任、警察と検察、民事と刑事、六つの法分野、について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
3	テーマ:法の分類(福田 達也) 制定法と不文法・判例法、公法と私法、一般法と特別法、実体法と手続法、について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
4	テーマ:法と裁判(福田 達也) 裁判所の種類と役割、制度と訴訟手続、公開と非公開、調停制度、刑法基礎、について解説する。また、裁判員制度についても解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
5	テーマ:基本法令 1(福田 達也) 憲法・行政法など国と国民に関する法令について事例を交えて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
6	テーマ:基本法令 2(福田 達也) 民事法全体について体系的に事例を交えて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
7	テーマ:基本法令 3(福田 達也) 商法・会社法などの商取引・企業取引に関する法令について事例を交えて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
8	テーマ:基本法令 4(福田 達也) 労働基準法、労働組合法、労働関係調整法、就業規則、労働協約、労使協定、現在の労働問題について解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
9	テーマ:基本法令 5(福田 達也) 刑事法令について事例を交えて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
10	テーマ:基本法令 6(福田 達也) 裁判法(民事訴訟・刑事訴訟)について事例を交えて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
11	テーマ:基本法令 7(福田 達也) 契約の成立および効力、債務の履行、債務不履行、物権変動、所有権など財産法について事例を交えて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
12	テーマ:基本法令 8(福田 達也) 婚姻・離婚夫婦、財産制・財産分与など家族法について事例を交えて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
13	テーマ:基本法令 9(福田 達也) 国際法と国内法、国際法の種類、国際組織など国際法について事例を交えて解説する。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
14	テーマ:基本法令 10(福田 達也) 生活保護法、児童扶養手当法、健康保険法、国民年金法、雇用保険法、など社会保障法について事例を交えて解説する	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
15	テーマ:まとめ(福田 達也) 法学概論の講義内容のうち、重要項目について解説する。学生が興味あるテーマをおさらいし、知識の定着を図る。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高等学校までの社会科等の基礎知識が必要になります。			
テキスト	指定なし 必要に応じてプリント等を配布予定			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：石川明・池田真朗ほか編集『法学六法 2016 年版』信山社 参考図書：『現代法学入門』有斐閣			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業中に取り扱った内容について整理・復習するだけでなく、図書館や書店等で法学に関連する文献を探して読んでみましょう。また、常日頃から社会的問題に関心を持ち、新聞などを読むようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	試験および小テストの内容については、授業の中で指示・説明をします。			